

# 危険薬汚染表面 モニタリングに関する 最良実施例

## コンセンサス会議提案、および次のステップ

2020 ASHP Midyear Clinical Meeting and Exhibition で  
開催されたバーチャル型式による昼間のシンポジウム

[www.ashpadvantage.com/safesurfaces](http://www.ashpadvantage.com/safesurfaces)

薬学関係者  
対象  
CPE

### 概要

危険薬 (HDs) による表面汚染は、ASHP、国立労働安全衛生研究所、臨床腫瘍学会、がん看護学会、および血液学/腫瘍学専門薬剤師会を含む多くの組織によって発表された基準、および成功事例のガイドラインで言及されている目下の懸念である。しかし、HDsが医療従事者や患者に脅威をもたらすという知識があっても、その環境下での拭取り式のサンプリング分析は医療機関では多用されていない。この催しでは、会議は2020年9月に開催された取扱安全性に関する National Consensus Conference on Hazardous Drug Surface Contamination の推奨を再確認し、患者ケアの区域を含む医療機関内での、危険薬による表面汚染のモニタリングにおける最良実施例の認識を向上させる導入の手段を共有する。HD表面汚染モニタリングの手順を実施する方法についても議論する。

**ashp** Advantage

ASHP提供

BDからの教育助成金支援

### 参加が望ましいのは誰か？

この催しは、病院や医療機関で危険薬を取り扱う薬剤師、薬学技術者、看護師に対する教育的ニーズを満たすために計画された。

### 学習内容

- 危険薬 (HD) の表面汚染に関する最新のナショナルコンセンサスカンファレンスから、優先度の高い推奨事項を列挙する。
- 危険薬の汚染を検出する表面モニタリングに対する医療従事者の認識の重要性について説明する。
- 医療機関での危険薬表面汚染モニタリングで最良実施例を採用する計画を作成する。

### 検討課題 (90分)

#### 危険薬表面汚染の取扱安全性に関するナショナルコンセンサスカンファレンスの再確認

Michael Ganio, 薬剤博士,  
M.S., BCPS, BCSCP, FASHP

#### 危険薬汚染に関する患者ケアの区域での表面モニタリング

Martha Polovich, 医学博士, RN,  
AOCN-Emeritus

#### 危険薬表面汚染のモニタリングに最良実施例を採用する実践的アプローチ

Patricia C. Kienle, M.P.A., BCSCP, FASHP

会議での討議、および質疑応答:  
推奨事項を実施するための障害要素の除去  
全会議

### CE情報



米国医療薬剤師会は薬学教育の生涯研修の提供者として、薬学教育審議会の認定を受けている。

ACPE 番号: 0204-0000-20-439-H07-P & T

発表日: 2021年1月20日

有効期限: 2022年2月1日

CE 履修単位: 1.5 時間 | アプリケーション使用を基本として

参加費用: 無料

### 看護師対象の認証評価

この看護を対象とした生涯研修の専門職育成事業活動は、メリーランド看護師協会によって承認された。メリーランド看護師協会は、米国看護師認証センターの認証評価委員会の認証を受けている。

### CE履修過程

- 発表内容全体を見て、調査研究に関わるすべての質問に回答し、評価を行う。
- 活動を完了したのち、60日以内にCEを請求する。ACPEの60日間期限後は、ASHPは履修単位を発行できない。

### 海外からの参加者

ASHPの修了証明書を入手するには、CE履修過程の手順に従い、履修単位を請求する際に「Additional Credits (追加履修単位)」を選択する。

### お困りの場合...

[elearning@ashp.org](mailto:elearning@ashp.org) に連絡ください。

[www.ashpadvantage.com/safesurfaces](http://www.ashpadvantage.com/safesurfaces)

システム要件やプライバシーポリシーを含む事業活動に関する詳細情報については上記サイトを参照